



大人にも子どもにも
おすすめする一冊

ぼくのニセモノをつくるには

ヨシタケ シンスケ 作
やりたくないことをやらせるためにニセモノロボをつくることにした『ボク』。ホンモノをめざすロボは、『ボク』のことをあれこれ知りたがる。めんどくさいけど、自分を知っておもしろい。

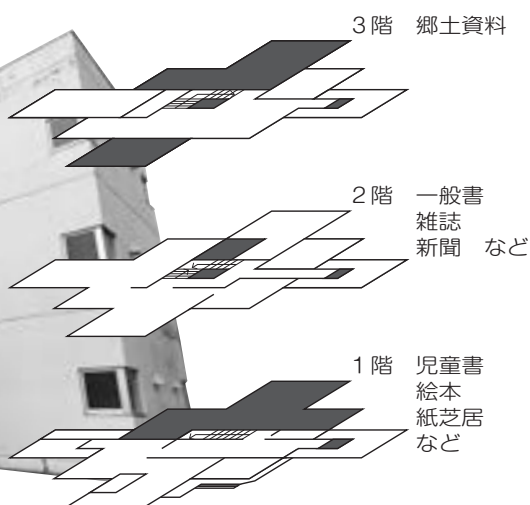


もっとしごとば

鈴木のりたけ 作
さまざまな仕事場を紹介する『しごとば』シリーズ第5弾。今回は、特殊メイクアップアーティストや花火師、科学者、水族館飼育員など、9種類の職業の仕事場にあるものを精巧な絵とともに紹介。



市立図書館 蔵書数 129,703



市立図書館
アーニス分館
蔵書数 10,334

商業施設内のアーニス分館では、DVD資料を充実。地域職業相談室に併設していることもあり、資格取得に関する資料を多く取り揃え、インターネット端末を複数台設置。



配本所
蔵書数
鑑別 7,654
登録 3,567

各支所に設置している配本所で、取り寄せた資料を受け取ることも可能。



移動図書館車
「くま号」
蔵書数 5,817

『くまのくーちゃん』が描かれた特徴的なデザインの『くま号』が、子ども向けの絵本だけではなく、大人向けの小説や実用書などを取りそろえ、市内64カ所を巡回。

※蔵書数は、平成30年3月31日現在の数字。

多くの本、資料から 新たな発見を

市立図書館は、昭和47（1972）年5月10日にオープンして以来、多くの市民に数多くの本や資料を提供してきました。

市立図書館では、現在、アーニス分館などを含めると日本文学から外国文学、各種専門書、登別市や北海道に関する郷土資料のほか、児童絵本や紙芝居、新聞12紙、雑誌11誌、DVD資料など、多種多様な蔵書約16万冊を取り揃えています。市民の皆さんからの声を聞きながら、年間約6千冊の本を購入。新たに加わった蔵書は、月ごと

にリストを作成し、市立図書館で毎月発行している『図書館通信』でお知らせしているほか、『広報のほりべつ』においても、そのいくつかを紹介しています。

登別市の図書館よりも、もっと蔵書数の多い図書館はありますが、限られたスペースの中で、質の高い資料構成を保っており、絶版になっ

として隣接する室蘭市、伊達市の図書館でも本を借りることができるようになっているほか、『北海道立図書館情報システム・ネットワーク』を介して、道内の図書館にある資料についても取り寄せることができます。

お目当ての本を求めて行くだけでなく、好きなジャンルのコーナーに行つて、背表紙などからお気に入りの本を探すのも一つ。インターネットで検索するよりも、時間はかかるかもしれませんが、新たな一冊との偶然の出会いが生まれ、その一冊が、あなたにとつて、忘れられない一冊になるかもしれませ

また、今まで接点のなかった専門性の高いジャンルのコーナーに行つてみることもいいのではないのでしょうか。入門書などから読み始めることで、新しい世界への興味が開けるかもしれません。

中央町まで行くことが難しいという方にも、手軽に図書館を利用することができるよう、事前に予約をした本をアーニス分館や市内3カ所の配本所、移動図書館車で受け取ることもできます。

市立図書館本館に来なくても希望する本を借りることができますので、気軽にご利用ください。